

瑞穂　樹木

はんどぶっく

- 瑞穂には、たくさんの樹木があります。
- この「はんどぶっく」をもって、樹木の観察・発見の探検にでかけよう！
- 一人でゆっくり観察するのも、お友達やお父さん・お母さんと一緒に探したりするのも、どちらも楽しいね。

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Mizuho Junior Green Friend



瑞穂樹木はんどぶっく

樹木名	特徴	写真	ラベルコメント	科名
ムクノキ	実は黒くなり鳥に食べれる。 葉のヘリに鋭い歯がある。	 	葉の表面は紙やすり	ニレ科
メタセコイア	約500万年以前までの間に、日本を含む北半球に広く分布していた。	 	生きた化石	スギ科
ヤマザクラ	果実は黒っぽい紫色に熟す。 葉は花が咲くのと一緒に伸び始める。	 	葉は花と一緒に伸びる	バラ科
ヤマボウシ	6～7月に白い花が咲く。 9月ころに赤い実をつけ甘く食べられる。	 	梅雨時に白い花	ミズキ科
ヤマモモ	7月ころ、丸くて赤い実がなり、黒くなるとおいしく食べられる。	 	丸く赤い実がなる	ヤマモモ科
ユズリハ	春、新芽が大きくなってから古い葉が落ちる。 正月のお飾りに使う。	 	新葉と古い葉が交代	トウダイグサ科

瑞穂樹木はんどぶっく

樹木名	特徴	写真	ラベルコメント	科名
アキニレ	9月にうすい黄色の花が咲く。種の周りに翼があり、風で運ばれる。	 	種のまわりにつばさ	ニレ科
アラカシ	小さなドングリがなる。ドングリの帽子(殻斗)は横しまの模様。	 	ドングリ帽子は横しま	ブナ科
イタヤカエデ	秋にプロペラのような実がなって風で運ばれる。花は4、5月に咲く。	 	プロペラ付きの実	カエデ科
イチョウ	オスの木とメスの木がある。メスの木にはギンナンがなる。	 	メスの木にギンナン	イチョウ科
イロハモミジ	手のような形の葉。葉が分かれているのをイロハニホヘトと数えたことが、名前の由来ともいわれる。	 	葉は5～7に裂けてる	カエデ科
エゴノキ	5月に、白い花がぶら下がって咲く。種は、形がコーヒー豆に似ており、鳥(ヤマガラ)の好物。	 	ヤマガラが好きな木	エゴノキ科
エノキ	秋に6ミリ位のオレンジ色の実がなる。　大木になる。	 	秋にオレンジ色の実	ニレ科

瑞穂樹木はんどぶっく

樹木名	特徴	写真	ラベルコメント	科名
オオシマザクラ	3～4月に白い大きな花が咲く。葉は花と同時に咲き、桜餅の葉となる。	 	葉は桜餅に使われる	バラ科
カクレミノ	葉の形が蓑(かさ地蔵が背中に着せてもらった物)に似ている。	 	姿を隠す蓑に似てる	ウコギ科
カシワ	大きな葉は柏餅に使われる。丸いドングリがなる。	  	大きな葉でかしわもち	ブナ科
カツラ	葉がハートの形をしている。しょうーゆ(または、キャラメル)のような匂いがする。	 	しょう油のにおい	カツラ科
キョウチクトウ	葉がタケに似ていること、花がモモに似ていることから夾竹桃の名がついた。すべての部分に毒性がある。千葉市の花。	 	千葉市の花木。触らない	キョウチクトウ科
キンモクセイ	10月初め頃、香りのよいオレンジ色の花を咲かせる。	 	花は甘い香り	モクセイ科
クスノキ	葉はアオスジアゲハの幼虫が食べる。虫よけ(樟脳)の材料にもなる。	 	神社近くによくある大木	クスノキ科

瑞巌樹木はんどぶっく

樹木名	特徴	写真	ラベルコメント	科名
クヌギ	樹皮に縦に深い裂け目がある。葉の縁は針状の歯がある。ドングリは丸く、トゲのあるカラに半分包まれる。	 	葉のふちが針の様	ブナ科
クロガネモチ	4月に新芽を吹き、葉が交替する。花は淡い紫色で5月から6月に咲く。たくさんの赤い果実を秋につける。	 	赤い実は鳥が好き	モチノキ科
ケヤキ	秋に葉が落ちてしまうと、ほうきのような形になる。大木になる。	 	ほうきの様な形	ニレ科
コナラ	雑木林に多くみられる木。秋になるドングリのカラはうろこの模様をしている。	 	ドングリ帽子はうろこ	ブナ科
コノテガシワ	枝が直立する様子が、子供が手をあげているようにみえることからコノテガシワの名があるといわれる。	 	手をあげてるような枝	ヒノキ科
コハウチワカエデ	天狗がもつという葉ウチワに似ており、葉がハウチワカエデよりも小さいためこの名前がある。	 	小さなハウチワカエデ	カエデ科
コブシ	3月終わりに白い花が咲く。秋に握りこぶしに似た実がなる。	 	秋に握りこぶしの実	モクレン科

瑞穂樹木はんどぶっく

樹木名	特徴	写真	ラベルコメント	科名
サルスベリ	夏に白やピンクの花が咲く。 幹の皮がはがれて、ツルツルしている。	 	幹がとてもなめらか	ミソハギ科
サンシュユ	3～4月に黄色の花が咲く。 秋に熟す赤い実は薬になる。	 	秋に熟す赤い実は薬	ミズキ科
シダレヤナギ	細くたれ下がった枝を持つ。 中国が原産地。	 	枝垂れ柳と書く	ヤナギ科
シャクナゲ	北半球の寒い地域から熱帯地域まで広く生育する。 大きな花が特徴。	 	山に咲くツツジの一種	ツツジ科
シャラノキ	別名はナツツバキ。白い花は一日咲くと落ちる。	 	ナツツバキともいう	ツバキ科
シラカシ	4～5月に花が咲く。 小さなドングリのカラは横しま模様。	 	ぎざぎざ葉にドングリ	ブナ科
センダン	5～7月に花が咲く。 秋に黄色い果実が枝先になる。 夏にはセミが樹液を吸う様子がみられる。	  	アゲハやセミが来る	センダン科

瑞穂樹木はんどぶっく

樹木名	特徴	写真	ラベルコメント	科名
ハナミズキ	葉を折って離すと、糸を引く。秋には赤い実がなる。		枝を切ると水したたる	ミズキ科
ハリエンジュ	北アメリカ原産でニセアカシアとも呼ばれる。春に、たれ下がった房状の白い花が咲く。		別名はニセアカシア	マメ科
ハンカチノキ	ハンカチのような白い花が、4月から5月に咲く。めずらしい木なので、樹木マニアに人気がある。		ハンカチのような花	ミズキ科
ヒメユズリハ	花期は5月頃、11月頃に果実は黒紫色に熟する。ユズリハより全体的に小さい。海岸付近に多い。		小さい葉のユズリハ	ユズリハ科
ホオノキ	葉の長さは20～40センチ。秋には紅葉する。昔は、食べ物をホオノキの葉で包んだ。		葉で食べ物を包んだ	モクレン科
マユミ	昔は弓の材料として使われた。秋の果実は皮が4つに割れ、赤い種子が4つ現れる。		昔は枝で弓を作った	ニシキギ科
ムクゲ	7～9月に白やピンクの花が咲く。花弁はちぎるとネバネバする。韓国の国花である。		夏に咲く韓国の国花	アオイ科

瑞穂樹木はんどぶっく

樹木名	特徴	写真	ラベルコメント	科名
ナギ	5月頃開花し、10月頃丸くうすい青の実が熟す。 神社で神木とされる。	 	葉はお守りになる神木	マキ科
ナンキンハゼ	真っ赤に紅葉する。 昔、種からろうそくのロウをとった。	 	種からろうそくのろう	トウダイグサ科
ノウゼンカズラ	夏から秋にかけオレンジ色の大きな美しい花をつける。花の形から英語では「トランペット・フラワー」と呼ばれる。	 	夏の庭にオレンジの花	ノウゼンカズラ科
ハウチワカエデ	葉の形が天狗の葉ウチワに似ているからこの名前の由来といわれる。	 	葉の形は天狗のうちわ	カエデ科
ハクモクレン	モクレンの仲間で白い花が咲く。コブシと似ているが、ハクモクレンのほうが花が大きく厚さがある。	 	春に白い花	モクレン科
ハコネウツギ	5月～6月に咲く花は、咲き始めは白で、ピンクからエンジ色に変わる。	 	白い花が紅色に変わる	スイカヅラ科
ハナズオウ	4月ころ、葉が出る前に紅色の花が咲く。 葉はハートの形でつやがある。	 	春にピンクの花束	マメ科

瑞穂樹木はんどぶっく

樹木名	特徴	写真	ラベルコメント	科名
タイサンボク	大きい白い「おわん」形の良い香りの花が、5～7月頃咲く。葉の表面は光沢がある。アメリカ南部を象徴する花木。	 	大輪の白い花から香水	モクレン科
タブノキ	海岸に近い所に生える木で大木になる。 秋には黒い実がなる。	 	海岸で大木になる	クスノキ科
ドイツトウヒ	アルプスなどの山岳地帯や、スカンジナビア半島の針葉樹。 ヨーロッパではクリスマスツリーとしても使われる。	 	Xマスツリーにもなる	マツ科
トウカエデ	葉は3つにわかれ、幹は皮がはがれる。 プロペラのような実がなる。	 	葉は3つに分かれる	カエデ科
トウネズミモチ	6～7月、白い花が咲く。 GPのほとんどが、鳥のふんを介して自然に生えたもの。実は黒っぽい紫色に熟す。	 	鳥が種を運ぶ	モクセイ科
トサミズキ	主に高知県に生育する落葉低木。 春を告げる花(淡い黄色)として庭木として植栽される。	 	春に黄の花を下げる	マンサク科
トチノキ	春に白い花が集まった房をつける。 秋には4センチ位の食用の実がなる。		大昔は種からお餅	トチノキ科



瑞穂　樹木はんどぶっく

瑞穂みどりの少年団